

皇工會報

第19号

平成24年2月27日

発行 日立工業高校同窓会
発行者 同窓会事務局

日立市城崎町2-12-1

☎0294 (22) 1049

FAX0294 (21) 4591

印刷所 協立印刷

☎0294 (35) 7857

会長挨拶

同窓会会長 長谷川 宏



昨年三月十一日の東日本大震災で被災された会員の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。また、母校の先生方が力を合わせ、通常の学校生活に速やかに戻していただきました事に、敬意と感謝を申し上げます。母校は、震災当日、デュアル成果発表会を日立シビックセンターにおいて実施しております。企業の方や全校生徒がいる中で被災しましたが、誰一人として怪我もなく乗り切れたということで、返す返す、先生方に感謝申し上げます。

震災から十ヶ月が経とうとしておりますが、この間、生徒諸君は学業に部活動に青春を謳歌し、先生方は熱心に在校生を育てております。これは地域経済の低迷や雇用情勢の更なる悪化にもかかわらず、来春の卒業予定者の就職率が九八%と高い数字に表れております。生徒諸君の努力は勿論であります。先輩諸君の皆様のご活躍の賜物でもあります。在校生の活躍は卓球部が全国高等学校総合体育大会、定時制サッカー部・定時制ソフトテニス部がそれぞれ全国通信制体育大会に、陸上競技部・山岳部が関東大会にと出場を果たしました。そして2年電気科・和田鍋健太君、長谷川渉君、吉田知晃君、2年情報電子科・安齋彰宏君、木網啓人君、小松和樹君の6名が本校を代表して理数の難問を解いて競う「科学の甲子園」に茨城原の名だたる進学校と肩を並べ上位五校に選出されました。各分

野の活躍は喜ばしく頼もしく思います。また、サッカー部の7年ぶりのインターハイ予選および新入戦の県大会出場は、名門復活の兆しを窺わせることもありました。

母校は、今年、平成二十四年に創立七十周年を迎えます。これまで学校とPTAおよび同窓会の会合を重ね、記念事業実行委員会が発足し、私が各会の推挙により、七十周年記念事業実行委員長を仰せつかりました。なお、これより早く、同窓会事務局から同窓会幹事会および総会で今回の「七十周年記念事業について」が議案

として提出されました。これを受けて平成二十三年六月十八日の平成二十三年度同窓会（皇工会）総会において内容および経費等が承認され、今日まで記念事業準備に目を充てております。

七十周年記念事業実行委員会では次の内容を実施いたします。

平成二十四年十月二十七日（土）午前十時から本校体育館において記念式典を挙行いたします。講演会（内容は検討中）も企画され式典に華を添えたいと思っております。

記念事業では記念誌の作成（原稿依頼中）と五十周年記念時に寄贈しました校歌プレートの新規掛け替えをします。

また、式典後の祝賀会は会場を替え、天地閣（日立市旭町）で行います。

まだまだ準備相整いませんが、七十周年記念事業に相応しいものとなるように努めていく所存です。ご報告させていただくとともに先輩諸君の皆様は何卒、ご協力とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

